



映画監督の高橋一郎
さん＝神戸市須磨区

急逝・高橋監督の 社会派映画を、今

神戸市を拠点に多くの社会派ドキュメンタリー作品を手がけたが、今年6月にハンセン病のシンポジウムの席上で倒れ、67歳で急逝した映画監督・高橋一郎さん＝神戸市＝の追悼上映会が5、6の両日、県立美術館（神戸市中央区）で開かれる。県映画センターなどが主催する。

高橋さんは1986年から計14本のドキュメンタリー映画を制作したという。

5日の上映は、原発の問題点を浮き彫りにして、全国約500カ所で上映された「24000年の^{ほこぶね}方舟」▽本当の豊かな生活とは何かを問いかけ、全国約1千カ所で上映された「奇妙な出来事アトピー」▽阪神・淡路大震災を乗り越えて95年に完成した「風ものがたり」――など6作品。

6日は、国のハンセン病隔離政策に反対した小笠原登医師を描いた「一人になる」など2作品を上映する。

5日は1作品500円、6日は同1千円。問い合わせは県立美術館（078・262・0908）。

（森直由）

5・6日に追悼上映会 神戸の県立美術館